

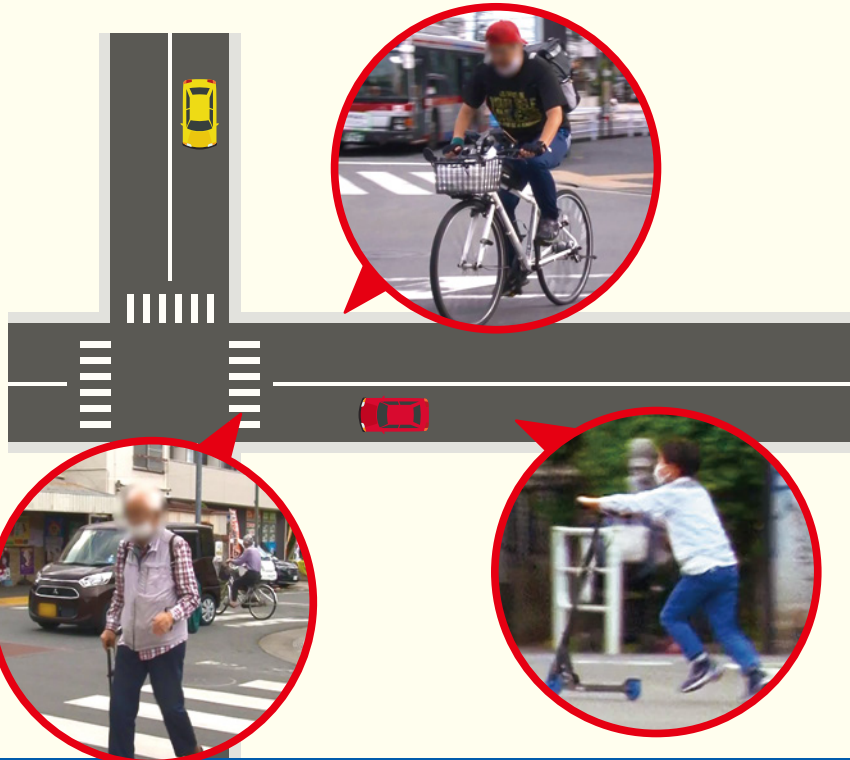


ドライバーは交通強者! その自覚が命を守る

～高齢者・子供・自転車の予想外の動きへの対応～

交通事故の状態別死者数で、最も多くの割合を占めているのが歩行者です。歩行者と自動車との間で交通事故が発生すれば、歩行者が被害者になるので、交通社会において歩行者は「交通弱者」といえます。対して、車体を守られ、事故の加害者になりやすい自動車のドライバーは「交通強者」といえるかもしれません。

「交通強者」であるドライバーが、「交通弱者」である歩行者、特に高齢者や子供をどうすれば守ることができるのか？また、自転車との事故をどうすれば防ぐことができるのか？本作品ではドライブレコーダーの映像も交えながら、そのポイントを学んでいきます。



上映時間 約17分 [C#3372]
DVD本体価格70,000円(税込77,000円)
字幕版付き

横断歩道での交通ルール 歩行者優先義務

ドライバーが歩行者を保護するために守るべきルール。それは「通行を妨げないこと」です。道路交通法では、車両が横断歩道に近づいたとき、横断しようとする歩行者がいなくても明らかな場合を除いて、横断歩道の手前で停止できるような速度で進行しなければならないとされています。車が減速・停止を怠った結果、横断中の歩行者と衝突してしまったドライブレコーダーの事故映像を例に、改めて、信号機のない横断歩道では歩行者優先が原則であることを伝えます。



事故事例から学ぶ! ① 高齢歩行者の場合

歩行中の交通事故死者数のうち、8割近くを占めているのが65歳以上の高齢歩行者です。高齢者は加齢による身体機能の衰えもあり、危険な横断をしてしまう傾向にあります。道路を横断していた高齢の歩行者と衝突してしまったドライブレコーダーの事故映像を例にして、ドライバーは高齢歩行者を見かけたときには、道路を横断してこないか細心の注意を払って運転することが大切だと伝えます。



事故事例から学ぶ! ② 子供の場合

ドライバーが特に注意をしないといけないのが、子供の歩行者です。子供は一つのものに注意が向くと、周囲に目が行かなくなったり、注意力が散漫になってしまうことがあります。また子供は大人に比べて目線が低く、視野も狭いため、走ってくる車に気づきにくい傾向があります。ドライバーはこのような子供の特性を理解し、車の陰や死角からの子供の飛び出しに注意した運転を心がける必要があります。



事故事例から学ぶ! ③ 自転車利用者の場合

高齢者や子供と共に事故が多く、大怪我などの被害に遭いやすいのが自転車利用者です。自転車利用者の中には、危険な運転をする人が多くいます。危険な運転をした自転車と衝突したドライブレコーダーの事故映像を例に、ドライバーは「自転車は予測した通りの動きをしない」ことを前提とした運転をする必要があることを訴えています。



ドライバーは「交通強者」である自覚を持って、高齢者・子供・自転車の予想外の動きにも対応できるよう、常に注意して安全運転を心がけていきましょう!

プロデューサー 光田雅樹 蒲本佳奈 鈴木浩
演出・脚本 國友勇吾
撮影・制作 市川任男

制作協力 有限会社暮らしの映像社
企画・製作 東映株式会社 教育映像部

協力 東京都個人タクシー交通共済協同組合
東京都個人タクシー協同組合
政和自動車株式会社
一般財団法人 日本自動車研究所

予告編配信中! <https://www.toei.co.jp/edu/> 教育映像 検索

令和5年(2023年)作品

- 本DVDは、ご購入いただいた官公庁(都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等)や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。
- 本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
 - ・テレビでの放映
 - ・ビデオオンデマンド等による配信
- 著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは、著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。
- DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

営業推進室
〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631

●お買上げは…